

【科目名】神経・筋疾患理学療法学		【担当教員】松林 義人						
【授業区分】 専門（理学療法治療学）	【授業コード】 3-17-0640-0-1	(メールアドレス) matsubayashi@nur05.onmicrosoft.com						
【開講時期】3 年次 前期	【選択必修】必修	(オフィスアワー)						
【単位数】1 単位	【コマ数】8 コマ	水曜日以外の在室時						
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 基礎医学（特に神経・筋に関わる領域）をしっかりと復習しておくこと。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 教科書や DVD を使用した講義を中心に行い、必要に応じて実技を行う。								
【講義概要】 (目的) 神経性難病（脊髄小脳変性症など）や進行性筋ジストロフィーなどの筋疾患について、病態像を理解したうえで運動療法を中心とした理学療法を理解するとともに、各疾患の進行に合わせて身体的・社会的・心理的な面から生活を支援する視点についても学修することを目的とする。 (方法) 教科書や配布資料、DVD を使用し、神経・筋疾患の理解を深め、理学療法の適応について講義を中心に行う。								
【一般教育目標(GIO)】 ・神経・筋疾患の病態像について理解する。 ・神経・筋疾患に対する理学療法について理解する。 【行動目標(SBO)】 ・理学療法の適応となる神経・筋疾患の病態像を述べることができ、適切な理学療法の目的を理解し実施することができる。								
【教科書・リザーブドブック】 石川朗編集 『理学療法テキスト 神経障害理学療法学Ⅱ』中山書店, 2012 年. ¥2,400								
【参考書】 田崎義昭 他著・『ベッドサイドの神経の診かた 改訂 16 版』南山堂,2004 年.¥7,560								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績基準は本学学則規程の GPA 制度に従う。 記述識試験を実施する。								
【達成度評価】	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	10	0	0	0	0	100
評 取り込む力・知識	80	0	0	0	0	0	0	0

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力	10	0	10	0	0	0	0	0
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1	神経・筋疾患とは。 脳の構造と機能（大脳と大脳基底核）	講義	（予習）教科書（pp1-10）を読んでおくこと。 （復習）整理しまとめること。	60
2	脳の構造と機能（小脳と脳幹）	講義	（予習）教科書（pp11-30）を読んでおくこと。 （復習）整理しまとめること。	60
3	運動失調の病態と理学療法	講義	（予習）教科書（pp61-90）を読んでおくこと。 （復習）整理しまとめること。	60
4	筋萎縮性側索硬化症の病態と理学療法	講義	（予習）教科書（pp131-150）を読んでおくこと。 （復習）整理しまとめること。	60
5	筋萎縮性側索硬化症の症例 DVD	講義	（復習）ALS 患者に対する理学療法を考え、レポートにまとめる。	90
6	多発性硬化症の病態と理学療法	講義	（予習）教科書（pp111-130）を読んでおくこと。 （復習）整理しまとめること。	30
7	ギランバレー症候群の病態と理学療法	講義	（予習）病態像を確認すること。 （復習）整理しまとめること。	30
8	筋ジストロフィーの病態と理学療法	講義	（予習）病態像を確認する	30

平成 26～28 年度入学者用

			こと。 (復習) 整理しまとめるこ と。	
--	--	--	----------------------------	--

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。